

# 第3期第1回（平成25年度第1回）帯広市産業振興会議

## 議事録要旨

平成25年7月8日（月）10:00～

帯広市役所10階第5B会議室

### I. 開 会

### II. 挨 拶

事務局を代表し、阿部商工観光部長から挨拶があった。

### III. 自己紹介

委員、相談役、オブザーバーから自己紹介があった。

### IV. 協 議

#### 1. 正副会長互選について

委員の互選により、会長に佐藤聡委員、副会長に後藤健市委員、及び松本健春委員を選出した。互選後、佐藤会長から挨拶をいただいた（概要は以下のとおり）。

（会長）

時代背景、経済背景が大きく変わる転換期を迎え、産業振興ビジョンも見直さなければならない重要な時期だと思う。私は、北海道中小企業家同友会の政策委員長をお引き受けするなど、さまざまな活動をし、発言もしてきた。その中で多くの方々のご意見をお聞きしたいと思っていたところ。

TPPを含め、今は環境が変化する大切な時期。ぜひ皆さんと忌憚のない意見を交わして、十勝・帯広の産業振興のためにご尽力いただければと思っている。2年間よろしくお願いしたい。

## 2. 第3期会議の進め方について

事務局より、参考資料に基づき帯広市中小企業振興基本条例、及び帯広市産業振興ビジョンの概要について説明があったほか、資料2に基づき会議の進め方について説明があった。説明後、質疑を行った（概要は以下のとおり）。

（委員）

ビジョン見直しとは別に、来年度予算に関わって議論をする予定はあるか。

（事務局）

今期会議はビジョン見直しが一番の柱だが、予算についても並行して議論できればと考えている。スケジュールについては改めてお示しする。

## 3. 産業経済実態調査分析事業について

事務局より、資料3に基づき産業経済実態調査（アンケート調査）について説明後、意見交換を行った（概要は以下のとおり）。

（委員）

問29と問31は、選択肢からいくつでも選んで回答できることになっているが、回答数が多くなると、調査結果から何を浮き彫りにするかが見えにくくなるおそれがある。回答数を制限した方がよいと考えるがどうか。

（事務局）

問29及び問31については、事業者の意向を幅広く把握し、今後の支援のきっかけにするため、回答数を制限しないこととした。なお、調査結果の分析に当たっては、アンケート調査票回収後に行う訪問調査と重ね合わせながら、傾向を把握していきたい。

（委員）

訪問調査を行い、傾向などを絞り込んだ上で調査結果をまとめるということか。

（事務局）

そのように考えている。

（委員）

自由回答欄を設けてはどうか。

（事務局）

ある程度選べる形の方が回答はしやすいと思う。例えば、選択肢から選んで回答することに加えて、具体的内容を自由記述いただくことは考えられるが、回答しにくくなると思われる。

（委員）

自由記述欄がある方が答えやすい場合もあるだろう。選択肢を増やす方法も考えられる。

（委員）

自由記述は集計の際に苦勞する。最後に「7. その他」があるので、そこに記入していただいているかどうか。

(委員)

回答者の思いがある部分については、「7. その他」の部分で記入いただいてはどうか。そうしないと、まとまりのつかない調査になってしまうと思う。

(事務局)

書き切れない場合は「7. その他」に記載いただくように、問 29 と問 31 に注意書きしたい。

(委員)

了解した。

(委員)

調査目的の説明文に、中小企業振興基本条例や産業振興ビジョンについて記述があるが、回答者は条例やビジョンの目的などについて理解が不十分だと思われるので、記述を追加してはどうか。

また、問 14 は、原案段階では「コスト」と表現されていたが、今回は「支出」に修正されている。選択肢の⑦に「借入金の返済」とあるが、これはコストではないので不適切だと思っていた。「支出」とあるが、要はキャッシュフローという意味なのか。

問 16 については、例えば HACCP などの認証という選択肢があれば、支援策の裏付けにもなると思う。

問 19 は、設備投資にリースを含むとあるが、リースだと投資とは言えないので、「リース形式」ということか。

(事務局)

ページ数の関係で、条例やビジョンの理念などを詳細に記載することは難しいが、ホームページのアドレスを掲載しておき、それぞれご覧いただくという方法もあるかと思う。この機会に条例やビジョンをご覧いただけるよう工夫したい。

問 14 の「支出」という表現については、ご指摘のようにキャッシュフローを意図しているが、伝わりにくい面があると考え、「支出」という表現にした。

HACCP などの認証については、問 25 にも記載しているところであるが、これは食品に限定した設問なので、ご指摘のとおり問 16 の選択肢に追加する方向で検討する。

問 19 の「リース」については、設備投資に当たり建物付きの賃貸物件を探すケースも見られることから、これを含めた意向を調査する趣旨で記載したもの。

(委員)

事業所数で言えば、4～5 人以下の小規模経営・家族経営の事業所は相当な数に上る。その層の実態を正確に把握し分析するよう留意してほしい。

また、住宅リフォーム制度や小規模修繕契約希望者登録制度は、中小企業者向けに制度化したもののだが、ビジョンには全く反映されていない。所管は異なるかも知れないが、中小企業者向けの施策として、こうした制度もビジョンに反映していくべき。

(事務局)

アンケート調査票で従業者数を回答いただくので、規模別にどのような傾向があるか分析していきたい。

(事務局)

住宅リフォーム制度や小規模修繕についてご意見をいただいたが、アンケートなどを通じて、中小企業者が何を求めているか、挑戦を応援する施策としてどのようなものが考えられるかを幅広くお聞きした上で、見直しに反映させていきたい。

## V. その他

事務局から、首都圏イメージアップ広告キャンペーン「とかちのかち」等について情報提供を行った。

## VI. 閉会